

教育課程特例校 自己評価・学校関係者評価・第三者評価報告書

I 教育課程特例校としての取り組み

本校には、海外からの帰国生や多様な国籍・文化的背景をもつ生徒が数多く在籍している。そのため、国際コースでは、6年間を通して、英語だけでなく数学・理科・社会をすべて英語によって授業を行い、英語力のさらなる向上を図るとともに、異なる文化や価値観に触れながら、多角的な視点で学ぶ力を育てるために、特別な教育課程を編成している。

II 学校評価（自己評価・学校関係者評価・第三者評価）

A 自己評価 現状・課題・反省 総合評価：A－

評価項目	評価	現状・課題・反省
指導体制	A－	外国人教員約 15 名がフルタイムで勤務し、日本人教員と協働して授業を担当している。 これまでの取組みを通じて、国際的な教育力と日本の教育の融合が進み、校内に多様な価値観が根づいてきた。 今後は 20 名体制へと拡充し、日本人教科主任と外国人教科副主任が協働する仕組みを整備し、国際水準の教育体制を確立していく。
授業内容	A－	学習指導要領を遵守しつつ、日本語・英語・海外教科書を組み合わせた授業展開を行っている。 少人数指導、STEAM 型・探究型授業の導入により、英語力のみならず思考力・表現力も確実に育っている。 今後は本科とのカリキュラム連携を一層強化し、海外教材や ICT を活用した『世界標準の学び』を深化させる。
学習支援	A	Model UN の校内発表や Entrepreneurship などの大会で上位入賞を果たすなど、グローバル教育の成果が顕著である。 英語資格試験のスコアも着実に上昇し、海外大学進学希望者が増加している。 個々の教員の取組を全校的に統合し、学習支援を体系化することでさらなる成果の拡大を目指している。

生徒支援	A－	日本人・外国人教員がペアで担任・副担任を務め、生徒一人ひとりに寄り添う体制を確立している。 多文化環境の中で意見の違いも経験学習として生かし、共感力・表現力を育てている。 異文化理解教育をさらに進化させ、『違いを尊重し合い、新しい価値を共創できる力』を育てている。
情報発信	A－	学校説明会やパンフレットで教育課程特例校としての取組を積極的に発信している。 保護者会・学内配信システムを通じた情報提供も定着し、透明性が向上している。 今後はホームページを全面改修し、在校生・保護者にも分かりやすく教育活動の魅力を伝える体制を整える。
教育効果	A	中学の英検・高校の GTEC の結果を見ると、確実に英語力が伸長している。 英検 2 級・準 2 級取得者、 $\hat{\text{GTEC}}$ 1000 点以上の割合は年々上昇し、思考力・表現力・コミュニケーション能力も高まっている。 卒業生輩出後には、進路実績を通して教育効果をより明確に検証していく予定である。

B 学校関係者評価 意見・要望 総合評価：A－

学校関係者からは、学校の安定した運営と教育の質の向上に対する信頼が高まりつつある。一方で、さらなる教育充実を期待する建設的な意見が寄せられている。

【主な意見・要望（抜粋・要約）】

- ・開校 3 年目に入り、教育方針がぶれることなく継続され、学校全体が安定してきているとの安心の声がある。
- ・国際コースの学力差へのきめ細かな支援が期待されている。
- ・国内・海外大学双方に対応する進学支援の拡充を求める声がある。
- ・英語のみならず、日本文化理解を深める授業の充実を望む意見が多い。
- ・海外修学旅行の実施、キャリア教育・教養講座の充実を望む声もあり、学校生活全体の質向上への関心が高い。
- ・教員の指導力向上を促す前向きな提言が寄せられ、今後の人材育成方針への貴重な示唆となっている。

C 第三者評価 意見 総合評価：A－

評価観点	意見
英語教育の成果と課題	外国人教員による専門的指導の成果が顕著で、英検・GTEC の伸びが著しい。 国際コースの取組が本科コースにも良い影響を与えており、学校全体の英語教育水準が向上していると高く評価された。
非認知能力の育成	学力向上に加え、自己肯定感や協働力の育成を重視する姿勢が評価されている。 生徒が自ら考え、仲間と協働して課題を解決する力を育む取組が広がっている。
海外大学進学支援	海外大学への進学実績を見据えたカリキュラムや指導体制が整いつつあり、グローバルな進路選択の幅が広がっていると評価された。
教員組織の国際化	日本人教員と外国人教員が協働する体制が強化され、教育課程の一体化が進んでいる。 多文化共生の理念を教育現場で体現している点が高く評価された。
国際教育の高度化	教員の専門性の高さを背景に、国際認証カリキュラム（ケンブリッジ国際教育等）の導入可能性が期待されている。 国際的評価基準に基づいた教育が実現しつつある。